

頁	内容	意見・感想	修正案
1.はじめに			
3	検討委員の目的・委員名簿		
4	検討経過		第1回の場所が未記入です。第4回の委員会の名称が違います。 事) 対応済みです。
5	西東京市におけるコミュニティ政策		
2.地域コミュニティの現状と課題			
7	地域コミュニティの現状と課題	「若い世代」というのは、どのくらいの世代をいうのかがわかりづらいように思います。活動によっては50代や60代も若い世代になりますよね。 「地域のスキル」とはどのようなことでしょうか。	事) 課題の表題を「世代にかかる課題」に修正しています。 「地域のスキル」⇒「地域と関わるスキル」に修正 若い世代のイメージ共有は必要ですね。何となくですが、現役世代（20代～50代、60代前半くらい）のイメージで書いています。 L2/・・・高齢化による組織が維持困難に 事) 対応済みです。
8	地域コミュニティの課題	①～③はわかりやすい例が多いが、くどい感じはします。もう少しコンパクトにまとめたほうがよいかも ①の最後の部分で地域に関わる人の意識を変えていくか、の内容に つながることでのメリット を入れたらどうか？	①のL4/地域とつながらなくても困らない生活 ⇒ 事) もう少しコンパクトに修正します
		「特に若い世代が、しがらみを嫌い」という表現は少し強すぎだと思います。しがらみを気にするのは全世代では？	事) 一旦、しがらみの部分を削除しました
		地域コミュニティは目的ではなく、手段であると考えたとき地域コミュニティが衰退することでどのような困りごとが各世代でみられるかを示してもよいかと思いました。	事) 「地域コミュニティは目的ではなく、手段である」の部分重要ですね。コミュニティの衰退と地域については、コラムで補足してはどうでしょうか？
9	コラム 地域のつながりは必要か？		
11	地域コミュニティの新しいかたち ⇒ 地域コミュニティに関わる近年の動き	この項目はあってよいと思います。西東京市の具体的な新しいかたちがよく整理されていると思います。	後半部分L3/ひばりが丘団地の地区ではエリアマネジメント組織の活動による若いL7/誰もが参加しやすい食や楽しいことをテーマに、 組織を前面に出さず に居場所 事) 少し長いかもしれませんが、どうでしょう
		居場所づくりの「サロン活動」もこの10年で大幅に増加しています。	事) 追加しました。データのものはありますでしょうか？
3.地域コミュニティの将来像			
13	言葉の定義		事) 定義について追加しました
14	地域コミュニティの整理		
15	地域コミュニティのあり方	美味しい・楽しいは、ひらがなのほうが表現できる範囲が広がる気がします。楽しい・愉しい。美味・旨味などイメージが限定されないほうが伝わる？	事) ①のタイトルを「ご近所がつながることからはじめよう」に修正 ①～③のバランスはどうでしょう。この3つで良いか、ご意見ください
		「美味しい・楽しいで近所がつながる場を」は、②③の具体的な手段の1つのような気がしました。	
16	地域コミュニティの将来像	行政が出すものなのでこのかたちですね。 主語を住民にして書いてみました。	L3/・・・ウエルビーイングにつながります。 地域のイベントなどに参加した人たちは、自分たちのまちへの愛着を持つ機会になるでしょう。地域を好きになることで、自分のまちのために主体的に活動するきっかけになるかもしれません。 いろいろな地域コミュニティに関する活動を通じて、顔の見える関係性ができること、地域に愛着を持ち、自ら関わる人が増えていくことでしょう。
			将来像、本当にこんな地域になったらいいですね！！ 本文5行目、「きっかけ」と訂正をお願いします。 ・本文7行目、「信頼性ある関係性」→信頼ある関係性? 信頼性という機械の精度などのイメージが…
17	地域コミュニティの将来像 (図)	すごくいいと思います！ あと最後の文章がひっかかっていますしがらみという表現はネガティブなイメージがあるので、ここ！という部分には不向きかと・・・ならどうするか？考えてみましたがだんだん違うことになって来た気がして不安になっています苦笑	最終行/ * 地縁にとらわれずに新しく入ってくる人を受け入れる地域 * 誰もが助けてと言え、手助けを受け入れることができる地域 * 新しく入ってくる人を受け入れ協働して自分たちの暮らしをつくる地域 事) ぜひ、ご検討を！
4.コミュニティ施策の展開			
18	コミュニティ施策のあり方		事) 少し簡略化して、イメージをわかりやすくしました
20	コミュニティ施策のエリア		追加しました
5.自治会・町内会のあり方			
22	自治会・町内会等の課題	フリーライダーという言葉を知りませんでした。注釈はいらない？	事) 追加しました
23	自治会・町内会のめざすべきもの		
24	自治会・町内会支援のあり方	盛り立てるが普通です。でも、私の師匠が使っているのは「守り立てる」です。この場合、町内会の歴史などを守るという意味も含めて守り立てるが良いのではと。	③のL2/地域との関係性を生む・・・ L4/・・・町内会を市や地域が協働して 守り 立て、連携して・・・ 事) 全体調整で少し文言を変更しました
		防犯・防災に関する活動で、組織の周知に成功している印象があります。それぞれの地域の事情や特徴をつかむことが必要かもしれません。	

頁	内容	意見・感想	修正案
6.	地域協力ネットワークのあり方	<p>地域協力ネットワークが今の4つの地域で継続していくのが、ちょうどいいと思っています。</p> <p>地域協力ネットワークは設立時、地域の課題解決をみんなで考える、という方針でスタートしましたが、本当は各団体が疲弊していること、団体の活動を助けてほしいと思っている、ということがわかってきました。</p> <p>そのため、長年かけて、中間支援の働きをしてきました。</p> <p>1つの団体ではできないけれど、地域協力ネットワークに来て、みんなの意見を聞いてなら、なんとかなるかも、なんとかなるかもと前向きな活動につながってほしいと思っています。</p> <p>10年を経て、団体の名前の通り、みんなで「協力」していくネットワークになったのではないのでしょうか。</p> <p>この先、細く長く、「継続」していけるよう、行政のサポートに期待しています。</p>	
26	地域協力ネットワークの現状と課題		
27	地域協力ネットワークのあり方		
28	地域協力ネットワークの活動エリアと中学校区の関係		
29	地域協力ネットワークと学校区域		事) 追加しました。エリアを定量的にとらえるため
30	地域協力ネットワークの今後の方向性	<p>②その通り！だと思います。が、最後の中間支援的機能というのがちょっと。それ！なんですけどもう少し一般的な言い方にならないかなー</p> <p>すでにエリアをまたいで、団体や人材の交流があるので、これ以上「広域」な活動を目指す必要があるのか、できるのか心配です。</p>	<p>①のL2/・・・地域交流のハブとして・・・</p> <p>事) ジャンクションorハブ どちらがいいのでしょうか？</p> <p>事) ③の記述は、4つのネットワークが連携しながらという視点と、4つというやや広めのエリアを活かしてということをあらわしたのですが、伝わり方が難しいかもしれません。良い表現はないでしょうか？</p>
31	コラム		事) 追加しました。課題に対する内容です
7	西東京市地域コミュニティ基本方針について		
33	西東京市地域コミュニティ基本方針の改定について		
	資料編		
	その他・全般について	読みやすく、わかりやすいと思います。あまり否定的な言葉は使わずに、地域活動のおもしろさや大切さが伝わると思います。	
	章立て・項目設定について		
	不足している要素など		
	デザイン・写真・図などについて	写真の大きさはそろえた方がいいと思います。	